

■第2回学校運営協議会実施

第2回学校運営協議会を東地区・西地区それぞれで実施しました。今回の会議では、1. 前期学校評価について、2. 前期の活動報告、3. 意見交流を行いました。

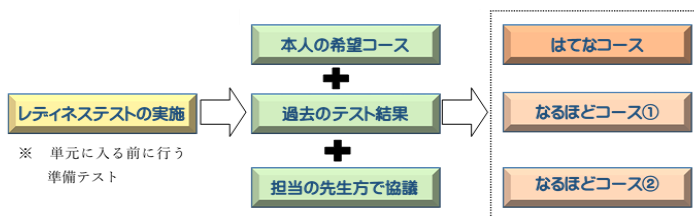
東地区（岩内東小・岩内第一中）

1. 確かな学力の定着に向けて・・・

岩内東小学校では、「確かな学力の定着」に向けた取組の一つとして、“習熟度別学習”を行っております。習熟度別学習とは、1つの学級を習熟度別に2つのグループに分けたり、2つの学級を3つのグループに分けたりして少人数で学習を進める方法です。少人数で学習を進めることで、先生たちは子どもたち一人一人にきめ細かい指導をすることができ、子どもたちの意欲・関心の向上も図ることができます。岩内東小学校では、2年生から6年生の算数の授業でこの取組を行っており、成果として問題を解くことに時間がかかりがちな子供たちの意識が高まってきていることが挙げられます。なお1年生については、学級担任のもとで学習を行うことが望ましいことから、習熟度別学習は行わず、TTや学習支援員を配置した複数体制での学習を行っています。

～習熟度別学習 コース分けの例～

【 ①事前テストを実施 】 【 ②希望調査＆協議 】 【 ③コースが決定 】

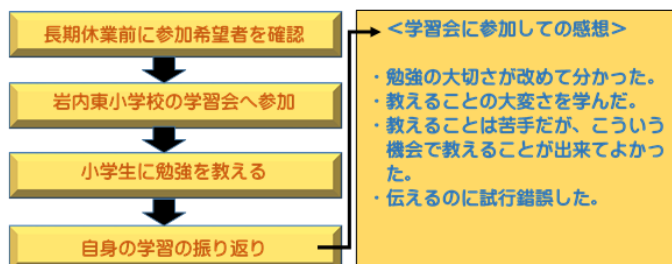


2. 先生になったつもりで・・・

岩内第一中学校では夏休みなどの長期休業中にある取組を行っています。これは、岩内東小学校で行われる学習会に中学生がゲストティーチャーとして参加をし、小学生に勉強を教えるという取組です。この取組は今年の夏休みから行っており、教えることによって自身の基礎基本を振り返り確かな学力を身に付けるだけでなく、小学生への思いやりなど内面的な成長が見られた取組となりました。今後もこの取組を継続して行う予定です。



～夏休み学習会について～



3. その他（学校評価・意見交流）

上記の他にも、ゲストティーチャーを招いての授業や、職場体験学習などの取組が紹介されました。前期の学校評価については、各校が保護者アンケートをもとに成果が見られた点、改善点等の報告がありました。意見交流の場では、各校の取組についての感想をいただき、アンケートの読み取り方やあいさつの様子等について協議をしました。

1. 小中一貫教育について

岩内西小学校と岩内第二中学校は、「ほっかいどう学力向上推進事業 小中一貫教育支援事業」に関連した主な取組として、「中学校教員による小学校乗り入れ授業」「小学校6年生の中学校登校日」などを行っています。



中学校教員による小学校乗り入れ授業

○学習指導面において、中1ギャップの解消やより専門的な立場からの指導による学力向上を図るため。

小学校6年生の中学校登校日

○小・中学校のスムーズな学びと指導の接続を形成する

- (1) 児童⇒中学校への見通しをもたせる
 - ・不安解消、心構えや望ましい習慣意識
- (2) 小学校⇒卒業段階の目標
- (3) 中学校⇒児童の実態や指導の様子を把握
 - ・中学校の指導改善・充実に活用



中一ギャップ解消

2. 地域の人材を活かした授業

西地区の小中学校では、授業に地域の人材を積極的に活かす取組を行っています。岩内西小学校では、読み聞かせ、茶道体験、ダンスの授業や夏休みの学習会、登下校時の見守りを、岩内第二中学校では、ダンスの授業、音楽の合唱や和楽器の指導や部活動などを地域の方に講師やボランティアとしてお願いしています。今後も学習活動の幅を広げるため、多くの地域の方にお力をいただきたいとお話がありました。



3. その他(学校評価・意見交流)

上記の他にも、4月から9月までの学校行事や部活動などについて各学校から発表がありました。前期の学校評価については、保護者アンケート等をもとに学習面や生活面、学校生活において評価をいただいた点や今後に向けての改善点の報告がありました。意見交流では、学校生活での様子、不登校などについて協議を行いました。

今後の予定

1月	第3回学校運営協議会推進委員会 (第2回学校運営協議会結果の交流)
2月	第3回学校運営協議会 (後期の学校評価・教育活動の結果報告)
3月	第4回学校運営協議会推進委員会 (第3回学校運営協議会結果の交流)